

病床規模別の病院数と紹介状無し患者への費用の徴収

病床数 (一般病床)	特定機能病院 ※許可病床数400床以上	地域医療支援病院 ※原則200床以上	その他	全体
400床以上	86 (1.0%)	347※ (4.1%)	124 (1.5%)	538 (6.4%)
200～399床	0 (0.0%)	233 (2.8%)	564 (6.7%)	816 (9.7%)
200床未満	0 (0.0%)	27 (0.3%)	7,031 (83.6%)	7,058 (83.9%)
全体	86 (1.0%)	607 (7.2%)	7,719 (91.8%)	8,412 (100.0%)

※現行は許可病床400床以上の病院が定額負担の徴収義務の対象であるため、上記400床以上の地域医療支援病院数には、一般病床数は400床未満だが、一般病床の他に療養病床や精神病床等を有し、合計で400床以上となっている病院数（19病院）を含めている。

2018年に紹介状無し患者に5000円以上の徴収義務対象となった病院

2020年に紹介状無し患者に5000円以上の徴収義務対象となった病院

20××年に紹介状無し患者に◎000円以上の徴収義務対象としようとしている病院（現在は任意で徴収）

上記以外に、徴収金額や再診時の取扱い、仕組みなどについても検討